

小児在宅医療支援センター シリーズセミナー 「～小児の訪問薬剤指導～」

日本薬剤師研修センター 研修認定薬剤師制度 受講シール1単位

小児医療の発展で小児死亡率はこの25年間で1/3にまで減りました。一方、医療的ケア児など在宅医療を必要としている小児が全国的にこの10年間で2倍に増えています。しかし、成人と比べ小児の訪問薬剤指導が可能な保険調剤薬局はまだ少なく、体制整備の必要性が謳われています。今回、小児の訪問薬剤指導の経験豊富な2名の薬剤師をお招きし、セミナーを行う運びとなりました。万障お繰り合わせの上、ご参加いただけますようご案内申し上げます。

【日時】 平成30年11月20日（火）
19時20分～21時00分

【会場】 熊本大学医学部附属病院
総合研究棟3階 講習室

【対象】 薬剤師、薬学部学生、小児の訪問
薬剤指導に関心のある方

【参加費】 無料 【申込み】 不要

医療機器展示

19時00分～19時20分

19時00分頃から、医療的ケアとして実際に子どもたちに使われている医療機器を展示しております。早めにお越しいただければ、胃瘻チューブ・気管カニューレ・在宅人工呼吸器・在宅酸素濃縮器・カフアシストなどの医療機器を自由に手にとって触っていただけます。

開催挨拶&事業説明

19時20分～19時30分

熊本大学医学部附属病院 小児在宅医療支援センター
特任講師 小篠 史郎

教育講演

19時30分～20時00分

「小児在宅医療において薬剤師が求められること」
三進堂薬局 佐藤 直哉 先生

特別講演

20時00分～21時00分

「小児の在宅訪問指導を始めるにあたっての保険薬局の環境整備」
ファーマダイワ 長峰 慎之介 先生

【主催】 熊本県補助事業 熊本大学医学部附属病院 小児在宅医療支援センター
【共催】 熊本市薬剤師会